

令和6年度 子どもゆめ基金助成事業

Non For Youth Education
青少年教育振興機構
基金助成活動

体験の風を
おこそう

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 2024」

実績報告書



こまあそび
の出前隊が
やってくる!



佐倉市北志津児童センター
8月7日(金)
14:00~16:00

はじけてお
どろろ ダン
スあそび!



松戸市根木内こども館
8月22日(木)
14:00~16:00



船橋市新高根児童ホーム
9月29日(金)
13:30~15:30



探偵あそび
君はこのなぞ
がとけるか?



探偵あそび
君はこのなぞ
がとけるか?



松戸市野菊野こども館
11月17日(日)
13:15~15:15



こまあそび
の出前隊が
やってくる!



市川市相之川こども館
8月23日(金)
14:00~16:00

後援：千葉県教育委員会



■事業名

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 2024」事業

■事業の背景・目的

コロナ禍以降、子どもたちの様々な体験が減り、また人との交流の場も少なくなっていました。目に見えないところで子どもの心身の成長に影響があることが昨年、あそび体験を実施したことで実感しました。子どもにとってかかせない体験・交流の機会を少しでも取り戻していく必要があると考え、

子どもがプロの舞台芸術家と出会い、ともに活動することで、自分の中にある可能性を広げ、舞台芸術への興味や関心を高めます。また、安心安全な場でおもいきり遊び、他者とふれあい、子どもの成長発達に必要な非認知能力を身につけます。子どものあそびや体験の場を継続、広げていきます。

■実施プログラム内容 ☆一日 1 企画 (2 時間)

①こま・けん玉あそび「こまあそびの出前隊がやってくる」

仲間とお互いに教えあいながら、自分のスキルアップやチャレンジしていくことで自信につなげる。



★指導者：コマのたけちゃん(武田勉)

全日本こま選手権 4 連覇。TV 出演や指導者としても活躍 中。こまやけんだまなど、様々な伝承あそびを 組み込んだパフォーマンスを披露。子どもたちに「生きる力」をと、活躍中。

★ワークショップの内容

①たけちゃんの演技披露

・けん玉の紹介、コマの紹介。玉すだれの演技など。コマの伝統の技やスゴ技を披露

②みんなでコマ回しに挑戦。様々なコマ・中国ゴマ・皿回し

③たけちゃんの中国ゴマ、どこまで高く上がるか？

②表現遊び「君はこのナゾがとけるか？ 探偵あそび」

自由に自分を開放して、仲間とコミュニケーションをとりながらあそび・交流を楽しむ



★指導者：大森靖枝 (うさぎの森企画主宰)

表現遊びファシリテーター児童演劇演出 芸術教育学校客員研究員保育園、幼稚園で子ども対象・児童館でおや子対象小学校において子ども対象のワークショップを行う。

★ワークショップの内容

①からだほぐし・「たんでいってなにをする人？」 ・たんでい紹介 ②色々あるよ！「目、耳、頭の修行」 ③たんでいは体をきたえる（紐つきスイカボールを潜り抜ける） ④ひょうげんあそび 1 人で石になる 2 人組で木になる 3 人組木になる 5 人組つばみから花が咲いた ⑤部屋の中を探そう ⑥暗号で探し物を見つける 修了証渡し

③ダンス「はじけておどろう!ダンスあそび」

仲間と話し合いながらダンスを作り上げていき、表現する楽しさをえて交流する。

★指導者：安西真幸

ダンスのジャンルにとらわれず、色々な表現を求めて活動中。小学生から社会人のダンスを指導しながら、小学校への訪問事業、知的障がい者、子育て中のママさんなど、いろいろな方を対象にして定期的にワークショップをおこなう。

★ワークショップの内容

準備体操 おどるポンポコリン ポケダンス 強風オールバック はいよろこんでジャンボリー ミッキー 交流





■実施体制

芸術文化部 10 人・・・部会 2 回開催(2024 年 4 月 9 日(火) 12 月 10 日(火))

宇野京子 岡田泰子 大森智恵子 大塚るい 買場都明 笠原直子 椎名好子 鈴木佳子 滝口淳子 中村雪江
 指導者 17 人(延べ 25 人) : 武田勉 大森靖枝 安西真幸 宇野京子 岡田泰子 大森智恵子 大塚るい
 大塚幸恵 買場都明 清水百世 鈴木佳子 椎名好子 滝口淳子 棚田純子
 中村雪江 中村幸恵 綿貫のぼら
 コーディネーター7 人(延べ 10 人) : 宇野京子 岡田泰子 買場都明 椎名好子 滝口淳子 中村雪江
 中村幸恵

■事業実績

| | 施設名 プログラム名 | 日時 | 指導者 | 参加者数(人) | | | | |
|---|---------------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------------|---------|-----|------------|----|-----|
| | | | | 子ども | 保護者 | 施設 スタッフ | 行政 | 総計 |
| 1 | 佐倉市 北志津児童センター 「こまあそびの出前隊 がやってくる」 | 8 月 7 日(金) 14:00～16:00 | 武田勉(こまのたけちゃん) 鈴木佳子 大塚るい 滝口淳子 椎名好子 | 25 | 1 | 3 | 0 | 29 |
| 2 | 松戸市 根木内こども館 「はじけておどろう! ダンスあそび」 | 8 月 22 日(木) 14:00～16:00 | 安西真幸 中村雪江 中村幸恵 棚田純子 綿貫のぼら | 16 | 6 | 4 | 0 | 26 |
| 3 | 市川市 相之川こども館 「こまあそびの出前隊 がやってくる」 | 8 月 23 日(金) 14:00～16:00 | 武田勉(こまのたけちゃん) 買場都明 宇野京子 大森智恵子 椎名好子 | 20 | 7 | 8 | 0 | 35 |
| 4 | 船橋市 新高根児童ホーム 「君はこのナゾがとけ るか? 探偵あそび」 | 9 月 29 日(金) 13:30～15:30 | 大森靖枝 岡田泰子 中村雪江 清水百世 大塚幸恵 | 18 | 3 | 5 | 2 | 28 |
| 5 | 松戸市 野菊野こども館 「君はこのナゾがとけ るか? 探偵あそび」 | 11 月 17 日(日) 13:15～15:15 | 大森靖枝 中村雪江 椎名好子 買場都明 中村幸恵 | 26 | 9 | 5 | 0 | 40 |
| | 4 市5 か所 | 10 時間 | 25 人 | 105 | 26 | 25 | 2 | 158 |

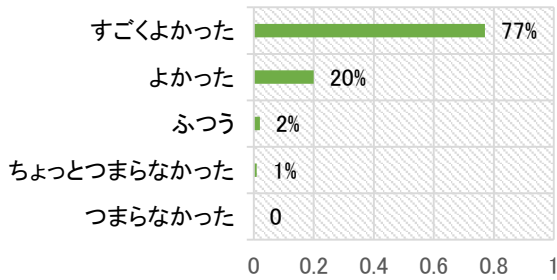
※子どもの内訳 105 人(幼児 9 人 小学生 91 人 中学生 2 人 高校生 2 人 不明 1 人)



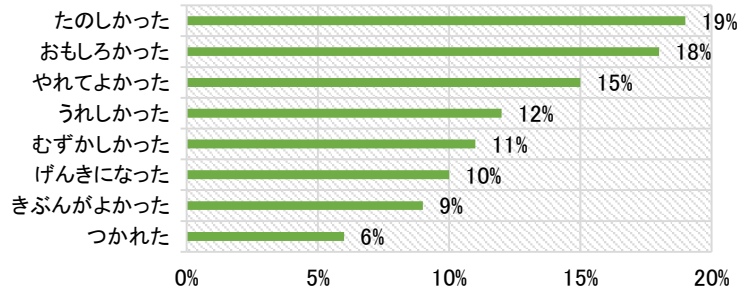


アンケート集計・分析 ※子どものアンケート回収率 90%

◆ワークショップ後の気持ちはどうでしたか？ 87人(%)



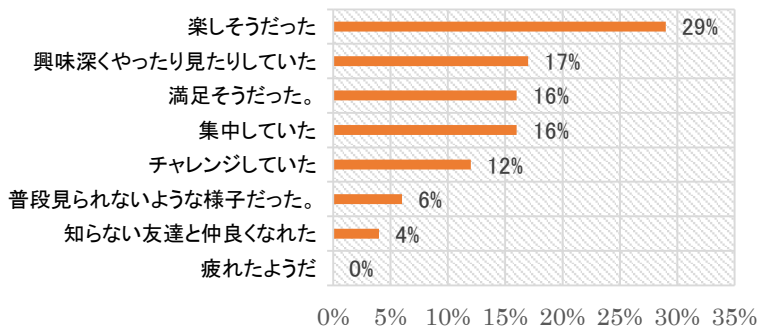
問4今日ワークはいかがでしたか？複数回答434枚(%)



子どもの自由記述

- ・とてもいろんなしゅるいのこまや、けんだまがあっておもしろかったです。あとちゅうごくごまがとてもむずかしかったです。
- ・たけちゃんがこまのやり方をわかりやすくおしえてくれてうれしかった。たけちゃんがおしえてくれたからこまができた。
- ・たけちゃんができて、なおたちにはむずかしかった。今より昔の方が楽しい遊びが多かった。たけちゃんがなんでもできすぎている。
- ・またこのもよおしをもう1かいやりたいです。さらまわしが、じょうずにまわせたのがうれしかった。またいきたいな (3年生)
- ・シーグラスがすごかった (5年生)
- ・のぎくのをぶっこわしそうになるくらいおもしろかった(1年生)
- ・しゅぎょうさいこう～！ さがすはっけんたのしい(2年生) ・たのしかった またやりたい (5歳)

ワークを体験した子どもたちの様子はどうでしたか？ (複数回答98人 %)



分析

ワーク実施後の子どもの気持ちは「ふつう～すごくよかった」99%、「たのしかった やれてよかった 元気になった等」積極的な気持ちが90%を超える。

施設スタッフ等による子どもたちの様子について、7項目すべてに回答が寄せられ、自由記述に記載された。直接目で見て感じたリアルな子どもの様子・姿の評価は、客観性と真実性があり、アートを活用した遊び体験の効果の高さがみてとれる。

参加した大人（保護者）の自由記述

- ・初めてのことは不安が強い子ですが、たけちゃんの楽しいお話しやこまにいつの間にか不安が和らぎました。
- ・いろいろな国のコマを見られておもしろかったです。子どもたちとたけちゃんのかげ合いがぴったり!! 笑いの中に実演の技で「おおー!」というどよめきもあり楽しませていただきました。
- ・集中してたのしんでいた。子どもの頃以来だったので、夢中になれる時間でした。たくさん笑ってよい時間がありました。
- ・普段から顔見知りなのか、仲の良さを感じた。最初様子見していた子がどんどん集中していきのが見てとれたスタッフもたのしそうに参加しているようすが良かった
- ・積極的に参加している姿がみられよかった。
- ・考え感じ、体を動かすことが、子どもがこんなにも心から喜ぶことにつながるのかなと勉強になりました。今後の生活に活かしたいと思います。ありがとうございました。



参加した大人（施設職員・スタッフ）の自由記述

- ・最初は知らない人、いやだと言っていたけど、笑顔で出来ていてよかったです。
- ・普段会うことのない年齢の子と交流ができて経験になりました。
- ・子どもたちがとても楽しそうに参加していて、こちらまで嬉しくなった。お母さんたちも積極的に参加してくれてよかったです。
- ・参加者みんな反応がよかったので、驚きました。どの遊びに対しても食いつきがよく積極的だった。兄弟で来ている子、児童ホームにしょっちゅう来ている子ばかりで、子ども同士が垣根なく、年齢差もなく、良い関係なのがよかった。児童ホームの先生と参加者の子どもの関係がほほえましく感じた。
- ・最初から最後まで、子どもがあきることなく集中して参加していました。頭だけでなく体を使って遊ぶことができて、幼児から小学生までみんな楽しそうでした。質問がたくさんあったので答えることができて満足そうでした。パフォーマンスが素晴らしく、子どもたちの笑顔が絶えない時間でした。
- ・どんどん引き込まれて、幼児から高学年まで楽しめたと思います。子どもたちの様子を見ながら流れを組み立ててくださり、最後まで積極的に参加していました。保護者も巻き込み全体で進行していく流れ、手をあげて発言した子どもたちの気持ちに寄り添い、目配り気配りしてくださったおかげで、全体が一つになっていました。私たちスタッフもとても楽しませていただきました。ありがとうございました。
- ・見る 聞く 教える 体を動かすなど、いろいろな要素がもりたくさんでしたが、子どもたちはプログラムの探偵の言葉やしぐさに引き込まれて、最初から最後まで楽しんでいたように思いました。小さな子も高学年の小学生も笑顔だったり、真剣だったり、様々な表情が見られてよかったです。



成果

- ①アンケートによるワーク実施後の子どもの気持ちは「ふつう～すごくよかった」99%、「たのしかった おもしろかった やれてよかった 元気になった等」積極的な気持ちが90%を超える。子どもにとって仲間とめいっぱい時間や疲れを忘れてあそび、大きな声を出して感情を表現し、満足そうな笑顔でいっぱいになった2時間は、子どもの自由記述「のぎくのをぶっこわしそうになるくらいおもしろかった」に代表されるように、おもしろさの度合いが最高値であったことが、この事業で得た最も重要な成果と言える。
- ②子どもたちが体を使い、挑戦して難しい技を獲得する、初めて出会った子ども同士や日頃の仲間とコミュニケーションをとって遊んだ体験は、ほぼ全員の子供たちから「またやりたい!」「またきてほしい!」「もっとやりた!」という気持ちを引き出した。遊ぶことで自信が持て、遊びが生きていく力になっている。
- ③子どもが主体的に遊ぶ・遊べるようになることを目指して、指導者との打合せを丁寧に行った。プロによる子どもへのアプローチの仕方が絶妙で、どの指導者もいっしょに遊んで伝えていたことは、「すごい!」「いいね!」「おもしろい!」と子どもの発した声を否定せず、すべて肯定的に捉える言葉や褒める言葉だった。最初、少し控え気味だった子どもたちの気持ちを安心させ、いつのまにか全員が参加することにつながった。
- ④実施施設との理念の共有、施設周辺の小学校等子どもの施設の理解を得て、チラシ配布等連携がすすんだ。昨年の課題であった、子どもの遊びや体験を継続し、広げていくことと、遊びを指導するプロをさらに開拓し、プログラムの種類を広げていくことについては、5か所の実施のうち新規が4か所、プロを1人・プログラムも1種類増やせた。課題解決に向けてPDCAサイクルを実践した結果と言える。

課題

- ①子どもが主体的に身体を使って遊ぶ体験の意味することや、子どもの遊ぶ権利の保障の重要性を、子育て世代にも改めて伝えていかなければならない使命を感じている。連携をさらに強化すること。
- ②こども大綱に掲げられた「こどもまんなか社会」、将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活する社会の実現という、国・地方自治体の課題に向け、NPOとしても主体的に発信し貢献していくこと。



募集チラシ

こまあそびの出前隊がやってくる!

「出前で行ける子どものあそび・アート交流体験 2024」

プログラム: **けん玉・こま回しに挑戦** 対象: **4歳~小学生** 保護者

日にも: 2024年8月7日(水)
時間: 14:00~16:00 (受付13:40から)
場所: 佐倉市北志津児童センター 遊戯室
〒280-0855 千葉県佐倉市北志津 744-1

参加費無料

主催・問合せ・申し込み先: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒280-0031 千葉県中央図書館2階 2-17-6 サウンドホール 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: info@childtheater.jp

後援: 千葉県教育委員会

はじけておどろろダンスあそび!

「出前で行ける子どものあそび・アート交流体験 2024」

プログラム: **ダンスあそび** 対象: **小学生** 保護者

日にも: 2024年8月22日(木)
時間: 14:00~16:00 (受付13:40から)
場所: 松戸市根木内こども館多目的室
〒273-0011 松戸市根木内145

参加費無料

主催・問合せ: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒280-0031 千葉県中央図書館2階 2-17-6 サウンドホール 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: info@childtheater.jp

後援: 千葉県教育委員会

こまあそびの出前隊がやってくる!

「出前で行ける子どものあそび・アート交流体験 2024」

プログラム: **けん玉・こま回しに挑戦** 対象: **小学生**

日にも: 2024年8月23日(金)
時間: 14:00~16:00 (受付13:45から)
場所: 市川市相之川こども館 遊戯室
〒272-0142 市川市相之川1-3-7 TEL: 047-356-7381

参加費無料

主催・問合せ: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒280-0031 千葉県中央図書館2階 2-17-6 サウンドホール 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: info@childtheater.jp

後援: 千葉県教育委員会

ただ今子ども探検募集中!

「出前で行ける子どものあそび・アート交流体験 2024」

「おはなとてい」は、子どもたちが大好きなキャラクターです。おはなとていと一緒に、おはなとてい探検隊になって、おはなとていを探検しよう!

日時: 8月29日(木) 13:30~15:30
会場: 新高根児童ホール 体育室
〒274-0814 千葉県野村市新高根 1-12-9

指導者: 大森靖枝 岡田泰子 中村雪江 清水百代 大塚幸恵

参加費無料

対象: 5歳~小学生

主催・問い合わせ・申し込み先: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒280-0031 千葉県中央図書館2階 2-17-6 サウンドホール 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: info@childtheater.jp

後援: 千葉県教育委員会

ただ今子ども探検募集中!

「出前で行ける子どものあそび・アート交流体験 2024」

「おはなとてい」は、子どもたちが大好きなキャラクターです。おはなとていと一緒に、おはなとてい探検隊になって、おはなとていを探検しよう!

日時: 11月17日(日) 13:15~15:15
会場: 野菊野こども館多目的室
〒270-2243 松戸市野菊野 9

指導者: 大森靖枝 椎名好子 中村雪江 貞浦都明 中村幸恵

参加費無料

対象: 5歳~小学生

主催・問い合わせ・申し込み先: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒280-0031 千葉県中央図書館2階 2-17-6 サウンドホール 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: info@childtheater.jp

後援: 千葉県教育委員会

名たんてい修了書

名たんてい修了証

~新高根児童ホール 名たんていだんへ~

よくぞ 任務をふしに かんりようした! すごい!

これからも たくさんのひらめきで 分らないことを どんどんしらべていくんだぞ!

たのんだぞ!

新高根児童ホール 名たんてい

2024.8.29 うさぎ探偵事務所 大森所長蔵

名たんてい修了証

「おはなとてい」は、子どもたちが大好きなキャラクターです。おはなとていと一緒に、おはなとてい探検隊になって、おはなとていを探検しよう!

日時: 2024年8月29日(木)
場所: 松戸市新高根児童ホール
主催: (特) 子ども劇場千葉県センター

名たんてい修了証

~野菊野こども館 名たんていだんへ~

よくぞ 任務をふしに かんりようした! すごい!

これからも たくさんのひらめきで 分らないことを どんどんしらべていくんだぞ!

たのんだぞ!

野菊野こども館 名たんてい

2024.11.17 うさぎ探偵事務所 大森所長蔵

名たんてい修了証

「おはなとてい」は、子どもたちが大好きなキャラクターです。おはなとていと一緒に、おはなとてい探検隊になって、おはなとていを探検しよう!

日時: 2024年11月17日(日)
場所: 松戸市 野菊野こども館
主催: (特) 子ども劇場千葉県センター

実施施設：佐倉市北志津児童センター

プログラム名：「こま遊びの出前隊がやってくる！」



実施場所：佐倉市北志津児童センター ゆうぎしつ
実施日時：2024年 8月 7日 (金) 14:00～ 16:00
参加者数：総数 29人
子ども 25人(小学生25人)
大人 4人(施設職員保育士3人 保護者1人)
スタッフ数：指導者5人(武田勉 鈴木佳子 大塚るい 滝口淳子 椎名好子)

ワークショップの内容

①たけちゃんの演技披露

- ・けん玉の紹介、コマの紹介。玉すだれの演技など。コマの伝統の技やスゴ技を披露

②みんなでコマ回しに挑戦。様々なコマ・中国ゴマ・皿回し ④たけちゃんの中国ゴマ、どこまで高く上がるか？

当日の様子

はじまるのを今か今かと待っていた子どもたち。すぐにたけちゃんとの絶妙な会話のやり取りが、はじまった。お互いにとても楽しそうで、話しかけたことに対して、たけちゃんが答えてくれるので、子どもたちの表情が終始ニコニコだった。玉すだれで作った様々な形をととても豊かな発想で「長靴・ごみ…」と答えていた。たけちゃんが「失敗3回チャンスで」というと「2回だよ！」それぞれが思うことを口に出しており、子どもたちが自由に発言できる空間が、できあがっていった。だんだん表情の変化や取り組む意欲の変化が感じられた。コマが回ったときの、にこやかな表情で、全員、回すことができ一緒に喜びあえて、こちらもうれしくなった。最後は外に出て中国ゴマを高く上げてくれたとき、大きな歓声があがった。終了後、床に寝転がっている子。「疲れた」といった。くたくたになるまで遊んでくれた結果でした。

子どもの声

たのしかった(21) うれしかった(13) おもしろかった(22) げんきがでた(9)

きぶんがよかった(11) やれてよかった(21) むずかしかった(21) つかれた(11)

- ・たけちゃんがコマのやり方をわかりやすくおしえてくれてうれしかった。たけちゃんがおしえてくれたからコマができた。
- ・皿まわしと中国コマはできるとたのしいし、でもコマはむずかしかった。皿まわしははじめてやったけどできてうれしかった。

施設関係者からの声

- ・いつも見ているのはいい子たちなので、講師とこんなにポンポン会話のやりとりをするとは、びっくりした。
- ・ぐったりするまで全身で楽しんでた。
- ・自分を出せていない子たちも刺激されていた。

(コーディネーター：椎名好子 滝口淳子)

実施施設：松戸市根木内こども館

プログラム名：「はじけておどろうダンスあそび」

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう



実施場所：根木内こども館 多目的室

実施日時：2024年8月22日(木) 14:00～16:00

参加者数：総数 26人

内訳 子ども16人(小1:1人 小2:4人 小3:1人 小4:2人 小5:1人 小6:3人

中学生:2人 高校生:2人) ※幼児対象外2人

大人 10人(保護者:6人 施設職員:4人)

スタッフ数：指導者5人(安西真幸 中村雪江 中村幸恵 棚田純子 綿貫のぼら)

ワークショップの内容

準備体操 おどるポンポコリン ポケダンス 強風オールバック はいよろこんで ジャンボリーミッキー

当日の様子

我が家の部屋に家族が集まるような、自然体でダンスの輪に入り、体を動かしているうちにいつの間にかダンスになって、そのダンスの上手なこと。体は柔らかいし、表情も豊かだし何よりステップも振りも体ごとスイングという感じで、ただただ、うまい！！子どもたちの体の中から湧き出るエネルギーを感じた。

積極的な参加はしないけれど、講師の安西さんの声かけをききながら、時にはちょっと参加してダンスしたり、自由な雰囲気の中かで、楽しさは共有している。おどっている人も、見ている人も、壁際でステップを踏んだりしていた数人も、音響係りに徹した子どもたちも、ワークの一員で、主体性のある個々の意思が、お互いに邪魔をせず、引き込まれることもなく、自分をしっかり主張して、それでも一体感を感じる、今までにないダンスワークの雰囲気だった。

安西さんの声かけやまなざしは、自分に向けられていると感じていたようで、休憩時には壁際でステップを踏んでいた中高生が、安西さんを取り囲んで積極的に話しかけていた。全員でおどった最後のジャンボリーミッキーは迫力があって感動的な場面になり、疲れて寝転ぶまで躍り込んだ子どもたちの顔は、笑顔になり満足感で輝いていた。

子どもの声(16人のアンケートより)

・良かった・すごくよかったが15人で95%。 ・またこのもよおしをやりたい。

たのしかった(16) おもしろかった(11) やれてよかった(10) げんきがでた(8)

うれしかった(7) きぶんがよかった(6) むずかしかった(6) つかれた(6)

施設関係者からの声

- ・最初は知らない人、いやだといっていたけど、笑顔で出来ていてよかったと思います。
- ・普段会うことのない年齢の子と交流ができて経験になりました。

(コーディネーター：中村雪江 中村幸恵)

実施施設：市川市相之川こども館

プログラム名：「こまあそびの出前隊がやってくる！～けん玉・こま回しに挑戦～」



実施場所：相之川こども館 遊戯室

実施日時：2024年8月23日(金) 14:00～16:00

参加者数：総数 35人

子ども 20人(小1年4人 小3年4人 小4年5人 小5年2人 小6年5人)

大人 15人(保護者7人 こども館職員6人、ボランティア2人)

スタッフ数：指導者5人(武田勉 買場都明 宇野京子 大森智恵子 椎名好子)

ワークショップの内容

①たけちゃんの演技披露

・けん玉の紹介、コマの紹介。玉すだれの演技など。コマの伝統の技やスゴ技を披露

②みんなでコマ回しに挑戦。様々なコマ・中国ゴマ・マジックスティック・皿回しなどで遊ぶ。

③たけちゃんの中国ゴマ、どこまで高く上がるか？

当日の様子

珍しいこまやたけちゃんの実演に、外国のコマ「ええ!？」 グリーンランドのコマ「何だこりゃ、輪投げだ～」と、ワイワイと大騒ぎ。お母さんごま「ハイタッチしてる」と、女の子。トルコのコマ「玉ねぎみたい」、アメリカのコマはジャイロごま、箱のままでもまわる「はやいはやい」。ヨーヨーは、蛙のペロもってぴよーんが始まり「ええ!」。たけちゃんの言葉や動きのひとつひとつに、子どもたちの反応がとても良かった。最初「知っている子がいない」とつぶやいていた子も、いつの間にか他の子と一緒に笑ったり、話をしたりとなじんでいた。みんなで、コマやいろいろなおもちゃに挑戦した。小1女子は、コマはなかなか上手いいかないようだったが何度も頑張っていた。たけちゃんに手を添えてもらって成功し、とても嬉しそうだった。コマまわしはひとりではうまく回せないが、それでも楽しげに挑戦して、自分の出来るものがあると得意そうだった。男の子たちは、何度もたけちゃんとかまの勝負をした。いい線行くのだが、たけちゃんには勝てないと悔しそう。最後は、外に出て中国ゴマを高く投げた。「わあ～!すごい!」みんなで高い空のコマを見上げた。笑顔いっぱいになった。

子どもの声

たのしかった(14) うれしかった(13) おもしろかった(13) げんきがでた(8) きぶんがよかった(4) やれてよかった(11) むずかしかった(12) つかれた(5)

あそびがたのしかった。たけちゃんつよかった/たけちゃんとコマで対決するのがとても楽しくて、またさんかしたい/ひざを使ってけん玉をやるって教えられてやってみたらうまくいってうれしかった。

保護者の声

子どもと一緒に参加して良かった/コマができる子もできない子も楽しめる内容でとても良かった。

いろいろな国のコマを見られておもしろかったです。子どもたちとたけちゃんのかげ合いがぴったり!! 笑いの中に実演の技で「おおー!」というどよめきもあり楽しませてもらいました。

施設関係者からの声

近くで生で見せてくれてよい経験になった。たけちゃんの話術や技がすごかった。

(コーディネーター 宇野京子 買場都明)

プログラム名：「君はこのなぞがとけるか？ 児童ホームでみんなで探偵遊びをしよう！」



実施場所：新高根児童ホーム 体育室

実施日時：2024年 9月 29日（金） 13：30～ 15：30

参加者数：総数 28人

内訳 子ども 18人（小学生 18人）

大人 10人（保護者 3人 児童ホーム職員 2人 ボランティア 3人 船橋市地域子育て支援課 2人）

スタッフ数：指導者 5人（大森靖枝 岡田泰子 中村雪江 清水百世 大塚幸恵）

ワークショップの内容

- ① からだほぐし
- ② 「たんでいってなにをする人？」
- ③ たんでい紹介
- ④ 色々あるよ！「目、耳、口、頭の修行」
- ⑤ たんでいは体をきたえる
- ⑥ 表現あそび なりきり表現
- ⑦ 部屋の中を探そう「怪しい落とし物」
- ⑧ シーグラス・終了証渡し

当日の様子

おーちゃんのラップとピアノの音で子どもたちにごあいさつ。後ろ向きの4人が、ジャンの合図でクルッと前を向くとサングラス、ハンチング姿のなりきり探偵が登場で、子どもたちは大喜び。「ね～、たんでいって何する人か知ってる？」⇒「色々しらべる」「犯人をつかまえる」「事件を捜査する」子どもたちのどの声にも「そうだね～ うんいいね なるほど・・・」と共感する。つづいて、「困った人を助けてあげる」のも探偵の大切なしごとだよ～そのためには「たんでいは目でよく見て、耳でよく聞き、「頭でよく考え 心で感じる」と、伝授を受けた。

*目でよく見る

隠れている絵を当てる。3人の探偵の誰がペンをもっている？瞬間を見おとすな。見事当てた。目を閉じて探偵のポーズが代わったところを当てる。「昭和の紙芝居」は昭和の家庭用品の一部が見える。「マッチ」「かまど」「丸いポスト」「黒い電話器」次々と当てた。

*耳でよくきく

探偵は隊長の指示でと動く！おーちゃんの一言で集まる。石になる、人になる、木になる。5～6人で集合してつばみから花が咲くという表現あそびで、会場に花が咲いた。「今のいいね～」「かっこいい！」とスタッフたちが手カメラのポーズで映すマネ。ニコ～ッと笑った。

*怪しい落とし物

ビリビリにちぎった画用紙に暗号が描かれた紙を拾った子どもたちは「なんだ！なんだ！」と拵げて、壁にジグソーを完成させた。数字の文字列は意味不明！もう1人の探偵が時計の指示書を発見。わいわいがやがや。やがてナゾの文章「くろいかばんをさがしてね」ができた！
一件落着だ！特に高学年の子たちが前列で集中し、ナゾ解きにチャレンジできた。

子どもたちの声

- ・とっても楽しかったです。頭だけでなく、体も使って動けたので、すごく為になりました。
- ・楽しかった16人 うれしかった12人 おもしろかった14人 元気が出た9人 やれたよかった11人 気分がよかった9人 疲れた4人

施設関係者からの声

- ・イヤ～ッ探偵のアシスタントで、今日は私も一生懸命で、ヒヤヒヤさせられて楽しかった。
- ・児童ホームはこれから改修工事にはいり暫く閉じます。みんな元気でね。

（コーディネーター：岡田泰子 中村雪江）

実施施設：松戸市野菊野こども館

プログラム名：「君はこのなぞがとけるか？ こども館でみんなで探偵遊びをしよう！」



実施場所：野菊野こども館 多目的室

実施日時：2024年11月17日（日）13:15～15:15

参加者数：総数 40人

子ども 26人（幼児9人 小学生17人）

大人 14人（保護者9人 施設スタッフ5人）

スタッフ数：指導者5人（大森靖枝 椎名好子 中村雪江 買場都明 中村幸恵）



ワークショップの内容

ウォーミングでまねっこ拍手、ぶらぶら体操。探偵修行：はてなの紙芝居、ボールペン隠し ロパクあてっこ「あ」の修行 集まる修行（木や石 動物に変身・みんなでラーメン）身体を鍛えるボールくぐり 虫眼鏡で妖怪さがし 暗号謎解き挑戦 かばんさがし 修了証わたし

当日の様子

こども館の二人の先生がジャーンの合図でサングラス、ハンチング帽姿のなりきり探偵になって登場。子どもたちは大喜びで拍手が起こった。おーちゃんは「たんでいって何する人か知ってる？」「色々しらべる」「犯人をつかまえる」「困った人を助けてあげるのも探偵の大切なしごとだよ。」そのためには「たんでいは目でよく見て、耳でよく聞き、頭でよく考え 心で感じる」と、探偵の伝授を受け、探偵の修行がはじまる。

*目でよく見る *頭でよく考え 心で感じる

隠れている絵を当てる。3人の探偵の誰がペンもっている？当たった時は、飛び上がって踊り、イエイ！、ヤッターヤッター！の連呼。耳も割れんばかりの声を張り上げた。

ロパクで何を言ったか当てる。「バナナ」「いちご」見事正解。「ドラゴンフルーツ」は難しかった。

「あ」だけで、びっくりするとか落胆するとか、いろんな気持ちを感じてあてる。これはおもしろいね！

*耳でよくきき、探偵は隊長の指示で動く。おーちゃんの一言で集まる。木や石になる。5～6人で集合してつぼみから花が咲いた。「いいね～」とスタッフたちが手カメラのポーズで映す。

手をつないだ大人の輪(器)の中に子どもたちが入り、めんま チャーシューなどラーメンの具材になって表現する。

*身体を鍛えるビーチボールくぐり、手作り虫メガネで部屋の中の妖怪を探す修行は、みんな面白がって会場いっぱい動き、壁や床を虫メガネで探しながら、自分の妖怪をみつけた。

*怪しい落とし物。ビリビリにちぎった画用紙に暗号が描かれた紙を拾った子どもたちは「なんだ！なんだ！」と広げて、ジグソーを完成させた。数字の文字暗号のナゾ解きを、わいわいがやがや言い合い「くろいかばんをさがしてね」を見つけ出すまで、みんなでチャレンジした。ナゾ解きをやり遂げ、満足そうな顔になった。

子どもの声

・のぎくのをぶっこわしそうになるくらいおもしろかった。/しゅぎょうさいこう～！/たんでいになってうれしかった/おもしろかった たのしかった またやりたい

施設関係者からの声

- ・子ども達がどんどんお話の世界に引き込まれていった。表現あそびでの子ども達のイメージや発想がすごい。子ども達は何度も何度も手をあげていた。
- ・子どもの笑顔がすごかった。保護者も小さい子も巻き込んで、緩急がありさすがだと思った。

（コーディネーター 中村雪江 椎名好子）



＜こども基本法 2023年4月1日施行＞（一部抜粋）

こども基本法は、日本国憲法、児童の権利に関する条約（以下「こどもの権利条約1」という。）の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す。

＜こども大綱の策定 2023年12月22日閣議決定＞（一部抜粋）

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約*の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」

～全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会～

1 ライフステージを通じた重要事項として （1）こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等

（2）多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり（遊びや体験活動の推進、生活習慣の形成・定着）

遊びや体験活動は、こども・若者の健やかな成長の原点である。例えば、こどもが遊びに没頭し、身体の諸感覚を使い、自らの遊びを充実、発展させていくことは、言語や数量等の感覚などの認知的スキルや、創造力や好奇心、自尊心、想像力や思いやり、やり抜く力、折り合いをつける力などの社会情動的スキルの双方を育むことに加え、多様な動きを身に付け、健康を維持することにつながり、ひいては、生涯にわたる幸せにつながる。こういった遊びや体験活動の重要性、学びへのつながりや、その機会を保障することの重要性を改めて認識した上で、国や地方公共団体、地域、学校・園、家庭、若者、民間団体、民間企業等が連携・協働して、こども・若者の全てのライフステージにおいて、年齢や発達に応じて、自然体験、職業体験、文化芸術体験など多様な体験・外遊びを含む様々な遊びができるよう、青少年教育施設の充実を含め、地域資源も生かした遊びや体験の機会や場を意図的・計画的に創出する。地域や育成環境によって体験活動の機会に格差が生じないように配慮する。

■遊ぶことがなぜ大切か 遊ぶことの意義・効用■

子どもは、大人によって育てられるのとは別に、自ら育つ力を持っている。子どもの内側から生まれる「やりたい」という気持ちは、生きていく原動力となり、そこから子どもは自分の世界を構築し、生きている実感を獲得していく。遊ぶことは、身体や心、人間関係、知性、創造性など、全人的な育ちと、自分の人生を自分で手づくりする土台を築くことにつながる。 <2023年6月8日(火) 総会関連企画講演会より抜粋 講師：神林俊一>



令和6年度子どもゆめ基金助成事業

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 2024」

実績報告書

発行日 : 2024年 12月 11日 (水)

発行者 : 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6

サンコート新千葉 102号

TEL : 043-301-7262 FAX : 043-301-7263

E-mail : kidchiba@lily.ocn.ne.jp

この報告書の内容を無断で引用・転載することはかたくお断りいたします



令和6年度子どもゆめ基金助成事業
実績報告書

主催・発行：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サコート新千葉 102 号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

URL <http://chiba.gekijou.org/>

※実績報告書のコピー・無断使用を禁じます。